

ナポレオンの少年時代

世界の英雄と云えば人かならずナポレオンと屈指するな
らんナポレオンは西暦一千七百六十九年地中海中の孤島
コルシカに生まる即ち我が明和六年にして將軍徳川家
治の時代なりき。其家さして富裕ならざれども
名族を以て鳴る彼れ其末裔たり。幼時より放膽剛
腹細事に拘泥せず思慮周密にして事理を辦ずる
こと群兒に超絶し眼光炯々として人を射るの慨あ
り。彼れ十歳の可憐なる少童にして佛蘭西の陸軍
学校に入る己に異數なり其の好める所は數學
歴史地理等にして殊に小閑あれば英雄傳を愛讀
す。寒氣身を刺すの冬夜炎熱砂を焼くの夏
日常に目を史上にさらし種々の想像を描き獨り自
樂しむ。一千七百八十三年数学の成績校中第一に位
賞を得て名聲全校に轟く乃ち皇室より派遣せられ
たる視學官に選拔せられ海軍候補生となる。され
れど事情あり轉じて陸軍砲兵科の学生となる。他
此時若しナポレオンの海戦に於て或は英將ネルソンを
日トラフアルガーの海戦に於て或は英將ネルソンを
制止せしやも計り知るべからず。果たして然らば歐州
現時の情態果たして如何なりしか想像し得べからず。
嗚呼此の少年の將來誰か佛帝の榮冠を
戴んものと思はんや時に年十五歳なりき二葉の梅檀
遂に他と異なるあり。我等少年ナポレオンの幼時に鑑
み苦刻精勵他日の大成を期せざるべからず。